

まずは、耐力壁を補う為に、鉄骨造に見られる「ラーメン構造」の採用を考えました。しかし、集成材でのラーメン構造は認可可ともあり計算が出来ますが、無垢の木材での、ラーメン構造となると一筋縄ではいきません。早速構造家に相談し、実験などで解かっているデータを使い、門型フレームでの構造を計画して行きました。



最終的には 120mm×300mm の木材を柱と梁に使い、それらを「Dボルト」と呼ばれる引き金物で留めていく構造体を9フレーム造り、間口方向の耐力を負担させる事にしました。

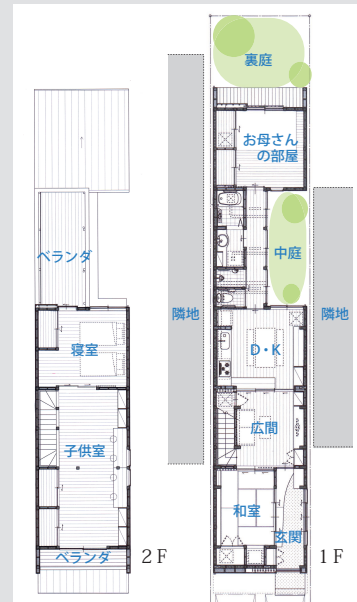
施工面では、門型フレームを1フレーム毎に現場で造り、敷地の奥から順に建て起こしながら行うことで解決していきました。

施工面では、門型フレームを1フレーム毎に現場で造り、敷地の奥から順に建て起こしながら行うことで解決していきました。

2階の子供部屋。大きな空間に机と本棚を予め造り、4人のお子さんの成長に合せて、部屋に区切る事なども考えた造りになっています。

あきらめない家造りから始まった、
彩のある暮らし。

広間から見た玄関。
かつての家にあった通り土間を参考に玄関をあつらえた。
自転車置き場や和室の縁側的な要素も含んでいる。



仕様内容

家族構成	家族 7 人
敷地面積	41.25 m ²
建築面積	80.52 m ²
延べ床面積	121.21 m ²
構法	木造組工法 + 門型フレーム 2階建て
外部工上	ガルバリウム鋼板 吹付け + 銅板外装材 仕上げ アルミサッシ（ペアーガラス）
内部工上	杉本実板張り 珪藻土塗り 杉本実加工 厚 30mm タモ / オリジナル
設備	青森ヒバ板張り + タイル貼 オリジナル 浴槽 / INAX
設計者	山崎健治
施工	杉山工務店



木材を現すことで、ゆとりある町並みに。

「準防火地域」に指定されている為、構造の検討に加え、今回の敷地は外壁・軒裏・外部開口部（外部窓）に規制が掛かります。一般的には、外壁も軒裏も不燃材と呼ばれる建材で覆い隠し、認定の取れたアルミサッシや網入りのガラスを使うことが決められていますが、折角木の家を建てるのだから、外観にもその雰囲気を出して行きたいと思い、軒裏やバルコニーの手摺に木材を使う計画をしました。軒裏には規制が掛かりますが、使用する木材を3cm以上の厚みとし、面戸板と呼ばれる板を4.5cm以上とする仕様を採用することで基準をクリアすることが出来ました。

準防火地域という規制区域のなかではどうしても無機質な建物が建ち並ぶケースが多いと思いますが、少しでも木材を現す事で、町並の中にゆとりや、やさしさを表現できるのではと考えました。

準防火地域という規制区域のなかではどうしても無機質な建物が建ち並ぶケースが多いと思いますが、少しでも木材を現す事で、町並の中にゆとりや、やさしさを表現できるのではと考えました。

あきらめない家造り。

今回のような敷地条件の場合、初めから木造建築をあきらめ、鉄骨やコンクリート造を考える方も多いと思いますが、耐震性能や防火性能などを重視するあまり、人の暮らしを支える器としての大切さを見失っている事も多いのでは無いでしょうか。木造技術も、従来の技術に留めず、新しい挑戦や試みをしていく時代がやって来ていると実感すると共に、建築に携わる者として、正しい知識や技術を身につけていかなくてはいけないと強く感じています。

今回の家造りは新しい挑戦も多く有りましたが、お施主さんのご理解と、たくさんの方の協力で無事建築することが出来ました。

今回の家造りは新しい挑戦も多く
有りましたが、お施主さんのご理
解と、たくさんの方の協力で無事建
築することが出来ました。

Sさんご家族は、夫婦＋お子さん4人の6人家族です。そしてお母さんとの共同生活を盛り込んだ計画と言う事で、町屋などに見られる中庭を取り入れ、生活スペースを2つに分けたプランとしました。中庭を設ける事で採光と通風を期待しつつ、お母さんのスペースとの程よい距離を保っています。また、中庭に面したスペースに、渡り廊下と共有の水廻りを配置し、お互い気兼ねなく暮らせる為の配置としました。

このような計画に対し、間取りと同時に、敷地条件に合った構造計画や施工性の検討をし、合せてこの地域は、外壁や軒裏、開口部などに制限の掛かる「準防火地域」に指定されている為、それらを一つ一つ解決して行く事から計画が始まりました。

く暮らせる為の配置としました。

このような計画に対し、間取りと同時に、敷地条件に合った構造計画や施工性の検討をし、合せてこの地域は、外壁や軒裏、開口部などに制限の掛かる「準防火地域」に指定されている為、それらを一つ一つ解決して行く事から計画が始まりました。

このような計画に対し、間取りと同時に、敷地条件に合った構造計画や施工性の検討をし、合わせてこの地域は、外壁や軒裏、開口部などに制限の掛かる「準防火地域」に指定されている為、それらを一つ一つ解決して行く事から計画が始まりました。



- 1 敷地との関係性を見てもらうために製作した模型。
- 2 2Fベランダ兼物干し場。
屋根もあり、たくさん洗濯物が干せます。
- 3 お母さんの和室。
離れのような、落ち着いた場所。
- 4 土間の雰囲気を出した、玄関の「大磯ジャリ」の洗い出し。

2/2Fベランダ兼物干し場。
屋根もあり、たくさんの洗濯物が

3 お母さんの和室。
誰れのような、客ちぎいた易所。

離れのような、落ち着いた場所。
4/土間の雰囲気を出した、玄関の
「大磯ジャリ」の洗い出し。

写真・文 山崎健治

